

令和 8 年 9 月 10 日
市議会第 3 回定例会
財務部財産運用課

令和 7 年度

指定管理者評価調書

指定管理者提出事業報告書

〈一部抜粋〉

— 福祉部門 —

No	施設名	指定管理者名	担当部	担当課	ページ
1	江刺総合コミュニティセンター	社会福祉法人奥州市社会福祉協議会	福祉部	福祉課	1
2	水沢高齢者創作館	奥州市老人クラブ連合会	福祉部	長寿社会課	9
3	江刺高齢者生産活動センター	社会福祉法人奥州市社会福祉協議会	福祉部	江刺 健康福祉グループ	15
4	まえさわ介護センター	社会福祉法人つつじ会	福祉部	前沢 市民福祉グループ	23

令和7年度指定管理者評価調書

施設所管課	福祉部福祉課	評価者職氏名	課長 千田 健悦	評価日	令和8年7月1日
-------	--------	--------	----------	-----	----------

施設名称	江刺総合コミュニティセンター	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	社会福祉法人 奥州市社会福祉協議会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年間)	供用開始年月	平成9年4月
施設設置目的	文化活動、社会福祉の研修等を行うことにより、障がい者、高齢者等全ての市民の相互理解と交流の活性化を図り、もってノーマライゼーションの理念の普及高揚に資する。	指定管理料の有無	有
施設概要	ホールや会議室の使用等による生涯学習の場となるコミュニティエリアと障がい福祉サービス事業所があるリハビリエリアからなる施設である。	指定管理料の区分	指定管理料＋利用料金

1 施設の利用状況

利 用 状 況	施設名	R6実績(人)	R7計画(人)	R7実績(人)	前年対比(%)	計画対比(%)	3	
	江刺総合コミュニティセンター	10,580	15,339	15,086	142.6	98.4		
	(計)	10,580	15,339	15,086	142.6	98.4		
	〔利用者の増減理由〕							
	対前年	ささらホールがなくなり、ホールを利用していた団体が2団体利用するようになったこと、令和7年度は3回選挙会場となったことが増の理由と考えられる。						
	対計画	令和5年度実績を計画値としたが、令和6年度以降「こどものくに」（子育て広場）を本センターで実施しなくなったことが減の理由と考えられる。						

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R7収支計画				R7収支実績				
		項目	公の施設分	自主事業分	計	項目	公の施設分	自主事業分	計
	収入	指定管理料	31,999,000	0	31,999,000	指定管理料	31,999,000	0	31,999,000
		利用料金	1,223,000		1,223,000	利用料金	877,700		877,700
		自主事業			0	自主事業			0
		雑収入	21,000		21,000	雑収入	84,550		84,550
		計	33,243,000	0	33,243,000	計	32,961,250	0	32,961,250
	支出	人件費	8,352,000		8,352,000	人件費	7,238,838		7,238,838
		需用費	15,442,000		15,442,000	需用費	15,705,847		15,705,847
		役務費	108,000		108,000	役務費	134,520		134,520
		委託料	7,890,000		7,890,000	委託料	8,789,280		8,789,280
		使用料・賃借料	82,000		82,000	使用料・賃借料			0
		租税公課	792,000		792,000	租税公課	777,000		777,000
		その他諸費	22,000		22,000	その他諸費	43,765		43,765
計		32,688,000	0	32,688,000	計	32,689,250	0	32,689,250	
損益	555,000	0	555,000	損益	272,000	0	272,000		
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額		事業目的に適合しない支出等の有無			なし	
	3,764,430	2,886,730	877,700						
職員配置	(計画) 常勤職員		2 人		(実績) 常勤職員		2 人		
	(計画) 非常勤職員		0 人		(実績) 非常勤職員		0 人		
指定管理者 人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出		計画 25.6 %		実績 22.1 %		計画との差 △ 3.5 %		3
利用者一人当りの 指定管理料	指定管理料/利用者数		計画 2,086.1 円		実績 2,121.1 円		計画との差 35.0 円		
損益計画比 (単位：円)	計画	実績	計画との差	収支 計画比	収入	経費	損益		
	555,000	272,000	△ 283,000		99.2%	100.0%	49.0%		
収支計画からの 増減理由	物価高騰等の中、人件費の減等により支出は抑えられたが、減免対象以外の利用が伸びず利用料金が計画より少なかったことが減の理由と考えられる。								

3 事業の実施状況

区 分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	- 施設の使用許可等に関する業務 - 施設の使用に係る使用料金の徴収に関する業務 - 施設の維持管理に関する業務	○		3
自主事業	- ヒロノ福祉パーク祭 - 福祉関係団体の活動支援	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	火災警報器の更新や利用者の利便性の確保に努めた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	(財)東北電気保安協会岩手県事業本部に委託し、月次点検(需要施設2ヵ月1回)、年次点検、臨時点検を実施した。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	江刺寿生会に委託し、日常清掃、全館清掃(週1回)、定期清掃(月1回)、特別清掃(年2回)を実施した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	節水・節電を積極的に行い、経費の節減に努めた。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	施設所有管理者賠償責任保険(あいおいニッセイ同和損害保険株式会社)に加入し、補償体制をとった。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	江刺寿生会へ委託し年4回の作業実施するとともに、定期的に利用団体へ呼びかけて草取りボランティアを実施した。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	条例に従い、利用者に対し使用許可・減免等を適切に行った。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	ホームページや広報誌に掲載し、利用周知を図った。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	速やかな受付及び貸出に努めた。条例に定めのない物品は本会の物品を無料で貸し出しするなどし、利用者の利便性向上に努めた。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	本会の苦情解決規定により、苦情受付体制を整えた。即時対応が可能な件についてはその場で対応を図った。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	ヒロノ福祉パークまつりを開催した。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	市への定期報告(月1回)を行った。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	市個人情報保護条例、奥州市社会福祉協議会個人情報保護規定に基づき対応した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	岩手信号防災棟に委託し、機器点検(年1回)、総合点検(年1回)を実施した。	○	
	警備業務の実施(機械警備含む)	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	ALSOK岩手㈱へ委託し、外部からの侵入を漏れなく監視し得るよう機器を設置した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	対応マニュアルを作成し、体制を確保した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	対応マニュアルを作成し、体制を確保した。	○	
	避難(救助)訓練の実施	避難訓練の実施	消防計画に従い、年2回避難及び消火訓練を実施した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価
		調査内容	施設利用団体に対して、利用の都度アンケートを実施した。	3
		調査結果 (未実施の場合はその理由)	利用報告の都度、アンケート内容を確認し、必要な対応を図った。	
	要望・苦情等	良好とする評価	▪ いつも快適に使用できるよう準備されています。 ▪ ホールの大型扇風機大変助かります。 ▪ 定期利用の団体で、予約をしていなかったが、当日のお願いで使用できました。助かりました。	
		苦情・改善要望等	▪ 録音室のドア開閉時に変な音がする。 ▪ 和室の商事の開閉が重たい。 ▪ 戸の開け閉めが重い。 ▪ ホールの鉄棒のねじが緩んでいる。 ▪ ホールの鏡のねじが外れている。	

6 総合評価

総合評価		総合評価	
総合評価	評価区分	評価	3
	1 施設の利用状況	3	
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	指定管理者制度の導入によって、物価高騰等に対応するための節電等の対策の実施に努め、一定の効果を上げている。また、福祉法人ならではの障がい者や高齢者等の利用者目線に立った適切な施設管理が行われていることから、効果は上がっていると判断する。		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	優先度を見極めながら、引き続き計画的な施設の更新・補修を行う。	令和6年度からの繰越である消防設備交換や天井補修工事に加え、誘導灯や排煙窓修繕や立木の伐採等必要な対応を順次行っている。	優先度を見極めながら、引き続き計画的な施設の更新・補修を行う。

单位：円

4

令和7年度江刺総合コミュニティセンター管理運営業務報告書

「うるおいとやすらぎを育む“ふれあいの郷づくり”」の実践を基本理念としたヒロノ福祉パークの中核施設として「高齢者から若者・幼児・障がい者まで、すべての人々が憩い、ふれあう場として、広く使用される施設」を基本方針として管理運営をし、多くの市民や団体の利用を通して、福祉の啓発を図った。

また、高齢者等福祉団体の活動や運営を側面から支援した。

1 施設の機能

市民が親しみやすい施設環境を整備し、施設内は勿論のこと外回りの環境美化にも留意し、使用目的に沿った施設の機能充実に努めてきた。

「コミュニティゾーン」は、福祉活動をはじめ市民が気軽に利用できる交流施設であり、「会議室」「視聴覚室」「ホール」「和室」「ボランティア室」の多機能的な各部屋において、会議や研修、サークル・同好会活動、市民交流、子育て支援活動などの利用の場を提供してきた。

「リハビリゾーン」は、障害をもった人が通所によって福祉サービスを利用できるよう施設環境と施設機能の充実に図り、その利用促進を図ってきた。

○生活介護事業所わかくさ

○知的障害者授産施設（通所）ワークセンターわかくさ

○えさしふれあい工房（障害福祉サービス事業就労継続支援B型）

以上の3施設は、「社会福祉法人江刺寿生会」により運営されている。

2 施設利用状況（令和8年3月31日現在）

区 分	利用日数（日）	利用回数（回）	利用人員（人）
ホール	204	345	9,526
市民ギャラリー	3	3	148
会議室	127	147	2,063
視聴覚室	150	167	1,865
ふれあい広場	0	0	0
和室	95	105	868
録音室	33	33	108
ボランティア室	66	81	508
視察	0	0	0
合 計	678	881	15,086

3 施設別利用者年次別実績 (令和8年3月31日現在)

区分		H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
利用実績	日数	1,046	1,156	1,250	1,307	1,379	1,486	1,965	1,421	1,369
	回数	1,185	1,415	1,613	1,712	1,785	1,894	1,965	1,793	1,746
	人数	30,123	34,426	37,259	39,884	43,819	49,480	50,844	44,030	37,142
視察実績	日数	184	84	69	50	38	39	17	14	19
	回数	214	112	84	61	47	41	17	14	19
	人数	3,399	1,831	1,768	1,299	755	991	379	501	449
合計	日数	1,230	1,240	1,319	1,357	1,417	1,525	1,982	1,435	1,388
	回数	1,399	1,527	1,697	1,773	1,832	1,935	1,982	1,807	1,765
	人数	33,522	36,257	39,027	41,183	44,574	50,471	51,223	44,531	37,591

区分		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
利用実績	日数	1,344	1,332	1,369	1,366	1,442	1,430	1,686	1,625	1,536
	回数	1,719	1,694	1,768	1,872	1,889	1,903	2,226	2,171	2,008
	人数	33,355	47,817	36,158	38,120	29,508	35,775	40,342	39,824	34,950
視察実績	日数	16	10	15	7	3	3	0	0	0
	回数	16	10	15	7	3	3	0	0	0
	人数	422	119	246	112	64	30	0	0	0
合計	日数	1,360	1,342	1,384	1,373	1,445	1,433	1,686	1,625	1,536
	回数	1,735	1,704	1,783	1,879	1,892	1,906	2,226	2,171	2,008
	人数	33,777	47,936	36,404	38,232	29,572	35,805	40,342	39,824	34,950

区分		H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
利用実績	日数	1,623	1,532	1,539	1,172	1,218	1,049	1,068	1,118	1,118
	回数	2,170	2,018	2,036	1,586	1,699	1,295	1,281	1,340	1,279
	人数	40,789	40,911	33,138	30,021	28,266	15,477	13,368	14,572	15,339
視察実績	日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	日数	1,623	1,532	1,539	1,172	1,218	1,049	1,068	1,118	1,118
	回数	2,170	2,018	2,036	1,586	1,699	1,295	1,281	1,340	1,279
	人数	40,789	40,911	33,138	30,021	28,266	15,477	13,368	14,572	15,339

区分		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	累計
利用実績	日数	647	678							25,892
	回数	775	881							33,610
	人数	10,580	15,086							593,396
視察実績	日数	0								54
	回数	0								54
	人数	0								993
合計	日数	647	678	0	0	0	0	0	0	25,946
	回数	775	881	0	0	0	0	0	0	33,664
	人数	10,580	15,086	0	0	0	0	0	0	594,389

4 施設の修繕

本会が直接実施した修繕は、駐車場街頭漏電確認。障害エリアテラス鍵修繕。

指定管理業務外の修繕としては、市民ギャラリー天井崩落修繕(市対応)。

今後改善が必要なところについては、ホールの上部ロールスクリーン開閉修繕、トイレ水道修繕が必要と思われる。

また、ギャラリーの床暖房が故障し使用できないため、冬季間は館内全体が非常に寒く利用者からも苦情の声があがっている。夏場においても建物の構造上、熱が籠りきってしまい、特にここ数年の酷暑にもよってギャラリーが熱中症の危険性を伴うほどの暑さになっており、何かしら対策が必要と思われる。

各部屋、蛍光灯が安定器の故障により、電気が着かないところが増えている。ホール及び市民ギャラリーについても、水銀灯を使用しており早急な改善が必要と思われる。本施設は平成9年4月の開所以来25年が経過し、老朽化や耐用年数経過に伴う修理・修繕及び整備の必要な箇所

が増加しており、今後も増加することが見込まれる。

市民が安心して快適に利用できる施設を目指し、奥州市と協議しながら優先順位を定めて順次修繕を進めていくこととしたい。

5 収支決算（見込）

（収入の部）

（単位：円）

区 分	実 績	備 考
奥州市指定管理料	31,999,000	指定管理料
利用料収入	877,700	コミセン利用料
雑収入	84,550	自動販売機手数料収入及び電気代
計	32,961,250	

（支出の部）

（単位：円）

区 分	実 績	備 考
事務局経費	7,238,838	給与、法定福利費、福利厚生費
事務費	7,862	振込手数料、防火管理者研修
消耗器具備品	130,715	トイレットペーパー、石油ストーブ代ほか
印刷製本費	0	
水道光熱費	14,177,451	電気、水道代
燃料費	963,081	灯油代
諸謝金		
修繕費	407,000	誘導灯交換、伐採工事等
通信運搬費	62,058	電話代、郵券代ほか
業務委託費	7,182,840	清掃・当直日直・警備・廃棄物処理・衛生害虫駆除・除草業務委託料
保守料	1,606,440	消防用設備点検料、自家用電気工作物保守料、コピーカウント料ほか
損害保険料	64,600	施設賠償保険料、車輛任意保険料
賃借料	0	車両借上料
租税公課	0	印紙税
教養娯楽費	27,600	新聞代ほか
消費税	777,000	
雑費	43,765	NHK受信料ほか
拠点区分間繰入金支出	272,000	法人運営費に繰入れ
計	32,961,250	

令和7年度指定管理者評価調書

施設所管課	福祉部長寿社会課	評価者職氏名	課長 菊地 美喜	評価日	令和8年7月15日
施設名称	水沢高齢者創作館			施設所在地	水沢地域
指定管理者名	奥州市老人クラブ連合会			公募・非公募の別	公募
指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで（5年間）			供用開始年月	平成20年3月
施設設置目的	高齢者の生きがいと創造意欲の高揚			指定管理料の有無	有
施設概要	本館：会議室、作業室（陶芸部使用）、和室（唄と踊りの会、面友会、手芸部、わら細工部使用）別館：作業室（木工部使用）※陶芸部使用のビニールハウスが水沢真城字中上野96番地にあり。			指定管理料の区分	指定管理料のみ

1 施設の利用状況

利 用 状 況	施設名	R6実績（人）	R7計画（人）	R7実績（人）	前年対比（％）	計画対比（％）	評価
	水沢高齢者創作館	3,042	3,042	2,952	97.0	97.0	
	（計）	3,042	3,042	2,952	97.0	97.0	
	〔利用者の増減理由〕						
	対前年 利用者の諸事情により活動参加日数が減ったため。						
	対計画 利用者の諸事情により活動参加日数が減ったため。						

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R7収支計画					R7収支実績				
		項目	公の施設分	自主事業分	計	項目	公の施設分	自主事業分	計	
	収入	指定管理料	2,658,700	0	2,658,700	指定管理料	2,658,700	0	2,658,700	
		利用料金	280	0	280	利用料金	0	0	0	
		自主事業	0	0	0	自主事業	0	0	0	
		雑収入	20	0	20	雑収入	262	0	262	
		計	2,659,000	0	2,659,000	計	2,658,962	0	2,658,962	
	支出	人件費	960,000	0	960,000	人件費	960,000	0	960,000	
		需用費	570,000	0	570,000	需用費	575,020	0	575,020	
		役務費	67,000	0	67,000	役務費	71,233	0	71,233	
		委託料	8,000	0	8,000	委託料	8,800	0	8,800	
		使用料・賃借料	305,000	0	305,000	使用料・賃借料	300,000	0	300,000	
		租税公課	0	0	0	租税公課	0	0	0	
		その他諸費	749,000	0	749,000	その他諸費	743,909	0	743,909	
計		2,659,000	0	2,659,000	計	2,658,962	0	2,658,962		
損益	0	0	0	損益	0	0	0			
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額		事業目的に適合しない支出等の有無			なし		
	0	0	0							
職員配置	(計画) 常勤職員		0 人		(実績) 常勤職員		0 人			
	(計画) 非常勤職員		1 人		(実績) 非常勤職員		1 人			
指定管理者 人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出		計画 36.1 %		実績 36.1 %		計画との差 0.0 %			
利用者一人当りの 指定管理料	指定管理料/利用者数		計画 874.0 円		実績 900.6 円		計画との差 26.6 円			
損益計画比 (単位：円)	計画	実績	計画との差	収支 計画比	収入	経費	損益	3		
	0	0	0		100.0%	100.0%	-			
収支計画からの 増減理由										

3 事業の実施状況

区 分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の運営に関する業務（利用登録業務、利用受付及び許可業務等。）、施設の維持管理に関する業務（修繕・改修等。）、付帯業務（来館者数の管理、利用者アンケートの実施、広報業務等。）、	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	施設全体が老朽化しているため、早目の修繕を行い、経費削減に努めている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者（電気・ガス等）による定期点検が行われている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	清掃分担に従い、部員が自主的に責任感を持ち清掃がなされている。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	水回り関係の経年劣化による漏水について、各部に周知を図り、注意して使用している。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	保険に入っているため、安心して対処することができる。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	施設の周囲の雑草などの駆除を各部で行い、整備に努めている。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	水沢高齢者創作館条例に則り、適切に対応している。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	市老人クラブ連合会の会報や社会福祉協議会の福祉だより等を活用して創作館の宣伝に努めている。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	パンフレットの作成やイベントへの参加により、利用促進に当たっている。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	会員との交流を図り、会員の意思を尊重しながら、対応している。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	イベント等に参加することにより活動を周知し、新規加入促進を図っている。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	日誌、月毎活動報告書の記載によって定期報告を行っている。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報の適切な保護に努めている。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	業者に委託し年1回点検を実施している。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	創作館のきまりを遵守し、事故防止に取り組んでいる。使用の講習を実施し、安全確保に努めている。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	連絡網を作成し、関係機関への連絡、対応が適切に行われるように努めている。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、避難について確認する。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	10月に避難訓練を実施した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価
		調査内容	1 会員経過年数について 2 活動の成就感について 3 施設への要望 4 改善点	3
		調査結果 (未実施の場合はその理由)	・会員経過年数は平均約8.7年 ・「物を生産することにより、自分の能力を知ることができる。」、「自分のペースで活動していると無心になれる。」、「会員同士の会話が楽しく、本当にありがたい施設である。」などの回答があり、利用者の満足度が高い。	
	要望・苦情等	良好とする評価	・多くの会員の生きがいづくりの場として活用されている。 ・水沢南地区センター主催の南祭りや水沢老連主催の趣味創作展に出品することで、より創作意欲が高まり、作品作りの励みとなっている。	
		苦情・改善要望等	・世界情勢の不安定化により、灯油代や電気代の値上がりによる燃料費や光熱水費などの支出増大が懸念される。 ・各部とも熱中症対策を講じているが、会員の多くが高齢者のため不測の事態が発生しないように部長会議等で周知を図っている。	

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	総合評価
	1 施設の利用状況	3	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	指定管理者の事業計画により、創作館内での活動のみならず、各種行事へ積極的に参加するなど、より一層の「高齢者の生きがいと創造意欲の高揚」が図られている。老朽化した施設使用にあたっての注意喚起や熱中症対策など利用者との対話を大切に事業運営がなされている。		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	施設の老朽化による漏水、破損等に各部門ともに留意して活動するとともに、新型コロナウイルスによる感染防止を最重要問題として、各部門とも意識した行動を遵守する。	施設の老朽化による漏水、破損等及び新型コロナウイルス感染防止についての注意喚起を徹底した。	新規部員の加入促進

令和7年度水沢高齢者創作館の指定管理に係る収支決算書

単位：円

				公の施設分	自主事業分	計	
収 入	市からの指定管理料			2,658,700		2,658,700	
	利用料金			0		0	
	指定管理者自主事業収入			0		0	
	雑収入			262		262	
	合計			2,658,962	0	2,658,962	
支 出	大項目	中項目	小項目				
	人件費	給与		960,000	0	960,000	
				0	0	0	
			給料手当	0		0	
			社会保険料等	0		0	
						0	
		賃金		960,000	0	960,000	
			臨時職員賃金	960,000		960,000	
			社会保険料等	0		0	
						0	
	一般管理費			1,698,962	0	1,698,962	
		需用費		575,020	0	575,020	
				消耗品費	28,478		28,478
				燃料費	89,516		89,516
				印刷製本費	40,967		40,967
				光熱水費	181,895		181,895
				修繕費	73,164		73,164
				原材料費	161,000		161,000
							0
			役務費		71,233	0	71,233
				通信運搬費	32,163		32,163
				手数料	500		500
				保険料	38,570		38,570
							0
							0
		委託料		8,800	0	8,800	
				清掃業務委託料			0
				警備委託料			0
				防火点検委託料	8,800		8,800
							0
							0
							0
							0
		使用料及び賃借料		300,000	0	300,000	
				使用料	300,000		300,000
							0
							0
							0
							0
							0
租税公課			0	0	0		
						0	
						0	
						0	
その他諸費			743,909	0	743,909		
			報償費	696,500		696,500	
		旅費	2,000		2,000		
		食糧費	25,619		25,619		
		研修費	9,778		9,778		
		備品費	10,012		10,012		
					0		
合計			2,658,962	0	2,658,962		

指定管理者事業報告書

令和8年3月31日

奥州市長 郷右近 浩 様

所在地 奥州市水沢南町5番12号
団体名 奥州市老人クラブ連合会

代表者氏名 会長 佐々木 幸 初

水沢高齢者創作館における指定管理者の指定手続き等に関する協定書第21条の規定により、
下記のとおり報告します。

記

- 1 公の施設の名称
水沢高齢者創作館
- 2 管理の年度
令和7年度
- 3 管理の期間
令和7年4月1日～令和8年3月31日
- 4 管理業務の実施及び利用の状況
 - (1) 職員体制
正規職員 0名
非正規職員 1名
・勤務シフト 午前9時30分～午後3時30分まで
・主な所管事務 運営、施設管理、危機管理対応、個人情報保護、業務管理及び管理運営のための体制の整備に係る事務
 - (2) 運営に関すること
使用の許可
利用登録
利用等に関する窓口相談
運営委員会の設置等
 - (3) 施設の管理に関すること
維持管理及び修繕
整備及び清掃並びに植栽等
電気・冷暖房設備の操作、保守点検及び管理
環境衛生管理
消防署の防火管理関係の点検
 - (4) 危機管理対応に関すること
 - (5) 個人情報保護に関すること
 - (6) 業務報告に関すること
 - (7) 管理運営のための体制の整備に関すること
 - (8) 主な事業・イベント
 - ・水沢南地区センター主催「南祭り」への参加
 - ・第39回中尊寺菊まつり 10月20日～11月15日
12人参加 創作館における園芸部が栽培している菊を中尊寺の本堂の園庭に飾り、一般の方々に菊の美しさとともに、芸術作品として素晴らしさを堪能させる機会としている。
 - ・第13回 駒形神社菊花展 10月26日～11月16日
12人参加
駒形神社の境内に栽培していた菊を飾り、その美しさ、芸術的な価値を与える機会としている。園芸部として最も力を入れている事業でもある。

・第47回水沢老連高齢者趣味創作展への出品

令和8年3月13日（土）、14（日）の2日間で高齢者趣味創作展が開催され、各老連及び創作館からの出品がなされ、全体として延べ人数が200人以上の来場があり、創作館の方々も満足していたように思われます。

（9）利用状況
別紙のとおり

5 使用料又は利用にかかる料金の収入実績
なし

6 管理に係わる経費の収支状況
別紙のとおり

7 その他
（1）自主事業の状況
なし
（2）利用者アンケート実施状況・苦情等の状況
利用者評価

利用アンケート	実施の有無	有
	調査内容	1 会員経過年数 2 活動の成就感 3 施設への要望 4 改善点
	調査結果	1 会員の経過年数は平均8、7年です。 2 熱中症対策を講じながら多くの会員が、充実した気持ちで作品作りに専念しております。 また、「会員同士の会話が楽しく本当にありがたい施設である」のアンケートが多く、結果として概ね良好であると理解している。
要望・苦情	良好とする評価	1 多くの会員は施設を生きがいの場として活用している。 2 本年度も水沢南地区センター主催の南祭りや水沢老連主催の趣味創作展に出品・販売することができその点について会員の方々も大いに満足しております。 3 会員はより豊かな作品づくりに励んでいる。
	苦情・改善・要望等	1 創作館の駐車場にできた窪地について市の協力により整地できたことが改善点です。 2 園芸部のみならず、夏場高温時は、早めに活動を終えるなど今後とも熱中症対策を重点的に対処していきたいと考えております。

（3）広報活動の実施状況

令和7年度も、水沢老連だよりや市老連だよりを利用したり、趣味創作展の開催により奥州市民全体に広く活動の周知を図っておりました。

令和7年度指定管理者評価調書

施設所管課	江刺総合支所健康福祉グループ	評価者職氏名	山路 友妃子	評価日	令和8年7月17日
-------	----------------	--------	--------	-----	-----------

施設名称	江刺高齢者生産活動センター	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	社会福祉法人奥州市社会福祉協議会	公募・非公募の別	公 募
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日（5年間）	供用開始年月	継続
施設設置目的	高齢者の経験や技術を生かした就業機会の増大を図り、その生きがいを高めるため、高齢者の生活活動を総合的、機能的に推進し、山村地域の振興に資する。	指定管理料の有無	有
施設概要	ロビー（展示室）、竹加工室、木工室、食品加工室、陶器室、休憩室、事務室等	指定管理料の区分	指定管理料のみ

1 施設の利用状況

利 用 状 況	施設名	R6実績(人)	R7計画(人)	R7実績(人)	前年対比(%)	計画対比(%)	評価
	江刺高齢者生産活動センター	1,700	1,700	1,670	98.2	98.2	
	(計)	1,700	1,700	1,670	98.2	98.2	
	〔利用者の増減理由〕						
	対前年 自然減少により各部会の部員数は微減。						
	対計画 自然減少により各部会の部員数は微減。						

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R7収支計画					R7収支実績				
		項目	公の施設分	自主事業分	計	項目	公の施設分	自主事業分	計	
	収入	指定管理料	7,860,000	0	7,860,000	指定管理料	7,860,000	0	7,860,000	
		利用料金			0	利用料金			0	
		自主事業			0	自主事業			0	
		雑収入	35,000		35,000	雑収入	36,738		36,738	
		計	7,895,000	0	7,895,000	計	7,896,738	0	7,896,738	
	支出	人件費	5,239,000		5,239,000	人件費	5,523,359		5,523,359	
		需用費	1,345,000		1,345,000	需用費	1,075,626		1,075,626	
		役務費	255,000		255,000	役務費	244,390		244,390	
		委託料	550,000		550,000	委託料	560,270		560,270	
		使用料・賃借料	140,000		140,000	使用料・賃借料	179,093		179,093	
		租税公課	311,000		311,000	租税公課	309,000		309,000	
		その他諸費	55,000		55,000	その他諸費	5,000		5,000	
		計	7,895,000	0	7,895,000	計	7,896,738	0	7,896,738	
損益	0	0	0	損益	0	0	0			
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額		実収入額	事業目的に適合しない支出等の有無			なし		
				0						
職員配置	(計画) 常勤職員		人		(実績) 常勤職員		人			
	(計画) 非常勤職員		3 人		(実績) 非常勤職員		3 人			
指定管理者 人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出		計画 66.4 %		実績 69.9 %		計画との差 3.6 %			
利用者一人当りの 指定管理料	指定管理料/利用者数		計画 4,623.5 円		実績 4,706.6 円		計画との差 83.1 円			
損益計画比 (単位：円)	計画	実績	計画との差	収支 計画比	収入	経費	損益	3		
	0	0	0		100.0%	100.0%	-			
収支計画から の増減理由										

3 事業の実施状況

区 分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	使用許可に関する業務 施設及び設備の維持に関する業務 仕様書に定める業務	○		3
自主事業	研修視察の実施 陶芸教室 文化祭等の作品展示	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	小修繕はスタッフが行い、経費削減に努めている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	定期点検は実施せず、異常がある際に業者へ依頼している。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	活動日に業者委託により実施。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努め、適正な使用と認められる。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	利用者及び職員のケガや事故のため、施設賠償保険に加入している	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	職員により定期的に実施されている。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	公平性は確保されている。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	「市広報」や「社協HP」等においてPRを実施している。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	トラブル等もなく問合せへも適正に対応している。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	マニュアルにて対応することとなっているが、苦情は出ていない。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	老人クラブを中心に体験学習を開催することにより、その後の利用につなげている。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	奥州市社会福祉協議会個人情報保護規定に基づき適正に実施している。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検を実施。消防計画を策定し、火災予防に取り組んでいる。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	職員により施錠管理をしている。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	マニュアルを策定し、事故発生時の対応に備えている。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	マニュアルを策定し、災害発生時の対応に備えている。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	消防計画に基づき実施している。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	無	評価
		調査内容	申し出や要望については活動日に要望を聴取し、随時受け付けられる体制をとっている。	3
		調査結果 (未実施の場合はその理由)	男子トイレ個室の洋式化、夏場の暑さ対策等施設について要望あり	
	要望・苦情等	良好とする評価	マニュアルにて対応することとしているが、苦情は出ていない。	
		苦情・改善要望等	男子トイレ個室の洋式化、夏場の暑さ対策について要望あり	

6 総合評価

総合評価		総合評価	
総合評価	評価区分	評価	3
	1 施設の利用状況	3	
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	利用者は自然減少はあるものの、イベントや広報活動により新規加入者の利用につながっている。小規模な施設修繕はスタッフの作業により行うなど、経費の削減に努めている。施設の特性を生かした取り組みは「高齢者の生産活動を総合的、機能的に推進し、山村地域の振興に資する」という施設の目標に貢献している。		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	特になし		特になし

令和7年度江刺高齢者生産活動センターの指定管理に係る収支決算書

単位：円

				公の施設分	自主事業分	計	
収 入	市からの指定管理料			7,860,000		7,860,000	
	利用料金					0	
	指定管理者自主事業収入					0	
	雑収入			36,738		36,738	
	合計			7,896,738	0	7,896,738	
支 出	大項目	中項目	小項目				
	人件費			5,523,359	0	5,523,359	
		給与		4,732,645	0	4,732,645	
			給料手当	4,732,645		4,732,645	
			社会保険料等			0	
						0	
		賃金		790,714	0	790,714	
			臨時職員賃金	790,714		790,714	
			社会保険料等			0	
						0	
	一般管理費			2,373,379	0	2,373,379	
		需用費		1,075,626	0	1,075,626	
			消耗品費	193,217		193,217	
			燃料費	253,825		253,825	
			印刷製本費			0	
			光熱水費	533,434		533,434	
			修繕費	95,150		95,150	
						0	
						0	
			役務費		244,390	0	244,390
				通信運搬費	116,749		116,749
		手数料		22,671		22,671	
		保険料		104,970		104,970	
						0	
						0	
		委託料		560,270	0	560,270	
			清掃業務委託料	560,270		560,270	
			警備委託料			0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
		使用料及び賃借料		179,093	0	179,093	
			賃借料	161,832		161,832	
			機械保守料	17,261		17,261	
						0	
						0	
						0	
						0	
租税公課			309,000	0	309,000		
		消費税等	309,000		309,000		
					0		
					0		
その他諸費			5,000	0	5,000		
		県安全運転管理者部	5,000		5,000		
				0			
				0			
				0			
				0			
				0			
合計			7,896,738	0	7,896,738		

奥社協江生発第 27 号
令和 8 年 3 月 31 日

奥州市長 様

奥州市水沢南町 5 番 12 号
社会福祉法人奥州市社会福祉協議会
会 長 田面木 茂 樹



令和 7 年度江刺高齢者生産活動センター管理運営事業報告書

令和 7 年 4 月 1 日付けで契約を締結した令和 7 年度江刺高齢者生産活動センター管理運営事業が完了したので、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 精算額 金 7,860,000 円
指定管理料 7,860,000 円
- 2 添付書類 令和 7 年度江刺高齢者生産活動センター管理運営事業報告書

1－(1) 令和7年度江刺高齢者生産活動センター管理運営事業報告

1 活動報告

主たる活動として今年度も引き続き、環境整備を進めてきました。館内は前年同様にロビー等内外のガラス清掃、館外は中庭・裏庭の草刈り草取り、植木等の剪定伐採作業と美化に努めました。

物置と化していた旧脱衣所を文書保管規程に則りながら、整理しました。

また、施設・設備の老朽化による案件は引き続き発生しました。大きなところでは、陶芸窯の灯油パイプ・バーナー、木工の工具(サンダー機)などがありました。築50年を目前とし今後も改修・更新・修繕は増えるものと予想されます。

施設・設備の問題として冷房の件がありますが、施設内全室施工での参考見積金額が1,600万円でした。エアコンに替わる冷房機器の検討もしましたが、活動の性質等、適合するものが見当たらず今後も検討を続けます。

参考として夏季最高気温は、30℃以上が74日(過去2年間ほぼ同数値)、内33℃以上が54日(昨年比36日増)、内35℃以上が20日(昨年比16日増)を計測しました。幸いなことに体調不良を訴えた人はいみせませんでした。酷暑の翌日は活動者が激減しました。なかでも梅雨明け直後に35℃超えが約1週間続くと体力的にも厳しい状況でした。

また、高熱でパソコンやプリンターの稼働に支障が出たこともありました。

送迎バスの自動ドア改修は完了しました。

活動の様子や、発表の場の紹介として、胆江日日新聞やえさしわいわいネット等にも取り上げていただきました。

2 事業報告 活動は陶器、木工、竹細工、食品の4部門で実施。

1) 陶器部・・・活動日は毎月第1・第3週の月・火曜日。部員は20名。

昨年度から3名減となりました。理由は、自然減少です。

主な製作品は植木鉢、花びん、皿、茶碗、コーヒーカップ、その他の作品を製作し、夢プラザの売店で常時販売しております。

また、蔵まち市、江刺産業まつり、伊手地区文化祭(展示のみ)は開催され、これまで通り作品を出品・出展しました。

7月11日と9月30日には、いでっ子くらぶで陶芸教室を実施しました。

研修は、当センターのマイクロバスを利用し、宮城県柴田郡村田町 町内「みやぎ村田町 蔵の陶器市」を事務局等含め11名で視察して来ました。プロの作品を鑑賞しながら、販売の方と話をするなど、その後買い求めた人も少なからずいたようでした。

3月2日に開催された『陶器部会ひな祭り会食会』の様子が、胆江日日新聞紙上に掲載されました。

2) 木工部・・・活動日は毎週金曜日。部員は10名。

昨年度から1名増の在籍となりました。今年も塵取り、花台、玩具、ミニ箆笥、将棋盤等を作製しながら木工の基礎基本の修得に努めております。

作品の展示販売については他の部と同様に夢プラザにお願いし、また、蔵まち市、産業まつ

りにも出品しました。また、2年連続で伊手振興会から注文を受け、伊手地区敬老会記念品として木製ティッシュ箱を納めました。これは令和8年度も続く予定です。

3) 竹細工部・・・活動日は毎月第2・第4週の月・火曜日。部員は23名。

昨年度から2名の減ですが、新年度早々、2名の入会がありました。

主な製作品はかご、筆立て、ざる、ふご、手さげカバン等で、夢プラザの売店で常時販売していただきました。他部と同様に、蔵まち市、江刺産業まつり、伊手地区文化祭（展示のみ）は開催され、これまで通り作品を出品しました。

11月には活動員全員で材料となる竹を採集して来ました。簗竹（スズタケ）は近年減少し十分確保できなくなったため、採集を断念しました。

研修は当センターのマイクロバスを利用し、11月21日に盛岡手作り村「しばた工芸」、ごぞ九商店、光原社を事務局含め13名で見学して来ました。各所で販売の方とコミュニケーションを取り、今後続くものと感じました。

4) 食品部・・・活動日は随時。部員は5名。

随時集まり梅漬け等の製造・販売を行っています。

3 運営委員会

第1回運営委員会 6月12日

第2回運営委員会 2月19日

令和7年度江刺高齢者生産活動センター管理運営事業収支決算書

収入

令和8年3月31日現在

区分	7年度予算額	決算額	予算残高	備 考
指定管理料	7,860,000	7,860,000	0	奥州市指定管理料
雑 収 入	35,000	36,738	△ 1,738	自動販売機収入
合 計	7,895,000	7,896,738	△ 1,738	

支出

区分	7年度予算額	決算額	予算残高	備 考
事務局経費	4,400,000	4,732,645	△ 332,645	運営委員報酬、職員給与、社会保険料、健診代
水道光熱費	600,000	533,434	66,566	電気代、水道代、ガス代
燃 料 費	300,000	253,825	46,175	灯油代
消 耗 品	120,000	193,217	△ 73,217	コピー用紙他
賃 借 料	170,000	161,832	8,168	複合機レンタル料ほか
諸 謝 金	760,000	720,000	40,000	講師謝礼
旅費交通費	79,000	70,714	8,286	講師旅費、運営委員旅費
修 繕 費	155,000	95,150	59,850	給水管凍結修繕、自動火災報知設備誤作動修繕
通信運搬費	130,000	104,473	25,527	電話代、インターネット接続料、郵券代
業務委託費	550,000	560,270	△ 10,270	清掃業務委託料、庭木剪定代、消防保守点検代
保 守 料	140,000	17,261	122,739	コピーカウント料
損害保険料	105,000	104,970	30	介護保険・社会福祉事業者総合保険料
手 数 料	20,000	22,671	△ 2,671	振込手数料
租 税 公 課	311,000	309,000	2,000	契約印紙、消費税
諸 会 費	0	5,000	△ 5,000	県安全運転管理者部会連合会費
雑 費	55,000	12,276	42,724	NHK受信料
合 計	7,895,000	7,896,738	△ 1,738	

令和7年度指定管理者評価調書

施設所管課	前沢総合支所市民福祉グループ	評価者職氏名	グループ長 柴田敏子	評価日	令和8年7月21日
-------	----------------	--------	------------	-----	-----------

施設名称	まえさわ介護センター	施設所在地	前沢地域
指定管理者名	社会福祉法人つつじ会	公募・非公募の別	公 募
指 定 期 間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）	供 用 開 始 年 月	平成11年 4 月
施設設置目的	居宅における介護を支援するため。	指定管理料の有無	有
施設概要	デイサービスセンター、ヘルパーステーション、在宅介護支援センター、厨房、ショートステイ居室（30床）等	指定管理料の区分	指定管理料＋利用料金

1 施設の利用状況

	施設名	R6実績(人)	R7計画(人)	R7実績(人)	前年対比(%)	計画対比(%)	評価
利 用 状 況	短期入所生活介護事業	9,504	9,526	9,587	100.9	100.6	3
	(計)	9,504	9,526	9,587	100.9	100.6	
	〔利用者の増減理由〕						
	対前年 前年とほぼ同様に推移している。						
	対計画 ほぼ計画通りである。						

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R7収支計画				R7収支実績				
		項目	公の施設分	自主事業分	計	項目	公の施設分	自主事業分	計
	収入	指定管理料	5,000,000	0	5,000,000	指定管理料	5,000,000	0	5,000,000
		利用料金	112,835,000		112,835,000	利用料金	113,560,774		113,560,774
		自主事業			0	自主事業			0
		雑収入	88,000		88,000	雑収入	1,939,449		1,939,449
	計	117,923,000	0	117,923,000	計	120,500,223	0	120,500,223	
	支出	人件費	78,976,000		78,976,000	人件費	82,392,011		82,392,011
		需用費	35,890,000		35,890,000	需用費	36,047,835		36,047,835
		役務費	736,000		736,000	役務費	620,810		620,810
委託料		12,001,000		12,001,000	委託料	11,894,990		11,894,990	
使用料・賃借料		3,191,000		3,191,000	使用料・賃借料	3,180,108		3,180,108	
租税公課		50,000		50,000	租税公課	25,000		25,000	
その他諸費		38,000		38,000	その他諸費	16,600		16,600	
計		130,882,000	0	130,882,000	計	134,177,354	0	134,177,354	
損益	△ 12,959,000	0	△ 12,959,000	損益	△ 13,677,131	0	△ 13,677,131		
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額		事業目的に適合しない支出等の有無			なし	
	113,560,774	0	113,560,774						
職員配置	(計画) 常勤職員	11 人		(実績) 常勤職員	15 人				
	(計画) 非常勤職員	11 人		(実績) 非常勤職員	4 人				
指定管理者 人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出	計画		実績	計画との差		評価	2	
		60.3 %		61.4 %	1.1 %				
利用者一人当りの 指定管理料	指定管理料/利用者数	計画		実績	計画との差				
		524.9 円		521.5 円	△ 3.3 円				
損益計画比 (単位：円)	計画	実績	計画との差	収支 計画比	収入	経費	損益		
	△ 12,959,000	△ 13,677,131	△ 718,131		102.2%	102.5%	105.5%		
収支計画からの増減理由	人材不足等、法人の経営上の理由により令和6年度より事業規模を縮小している関係もあり計画段階で収支が赤字となっているが、物価高騰の影響でコスト負担（特に電気代、燃料費等）が増加しており損失額が計画を上回る結果となっている。								

3 事業の実施状況

区 分	目 標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設を適正かつ円滑に管理すること。 指定管理者が有する能力を活用しつつ、地域住民等に対する福祉サービスの効果及び効率を向上させ、もって地域の福祉の一層の増進を図ること。	△	指定管理受託法人の経営上の理由により通所介護事業を令和6年度より休止している状況にある。（事前に休止申し出があり、承認している経緯あり。）	3
自 主 事 業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目 標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に修繕が行われ、維持管理が図られていた。小修繕はスタッフによる作業を行い経費の削減に努めている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	保守・点検業務の委託により、適切に管理が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	法人職員で清掃業務を行っていた。浴室配管や厨房害虫駆除については業者へ委託していた。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	蛍光灯の間引き、こまめな消灯、窓の開閉等節約に努めていた。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	介護保険・社会福祉事業者総合保険への加入を確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	隣接する市の管理施設と合わせ共同管理を行った。植木の伐採、中庭の草刈りについては法人職員が行っていることを確認した。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	公平中立なケアマネジメントの確保に関する説明を行っている事を確認した。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	広報誌を定期的に発行し、家族や関係機関へ配布している事を確認した。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	各部門責任者を中心に適切な対応が行われた。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	特に苦情等は無かったが、苦情等があった際は迅速な対応が行える体制を整備していることを確認した。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	介護センターまつりは開催出来なかったことを確認した。	△	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	基本協定書第17条及び独自の基本規定等に基づき適切に実施されていた。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	点検業務の委託により適切に管理が行われていた。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	休日や夜間についても日直当直により安全が確保されていた。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、災害時の対応を確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	隣接施設との合同訓練を実施したことを確認したが、年1回のみの実施となった。	△	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価
		調査内容	利用者・家族からの要望聞き取り対応	2
		調査結果 (未実施の場合はその理由)	指定管理者は、利用者・家族からの意見等を聞き取る体制を整え、その要望等に対して真摯に向き合い、改善に向けた努力を行うなど、その取組は評価できる。	
	要望・苦情等	良好とする評価	人材不足のため大がかりな行事は行っていないが、お花見会の実施や工作等日々のレクを通し利用者が楽しく快適に過ごせるよう努めている。	
		苦情・改善要望等	家族が出勤後に利用者の送迎を行う場合のケアについて家族からの要望によりストーブの消火や鍵の閉め忘れのチェック、もしくは準備が間に合わない方のために時間をおいての再送迎の実施等、サービス向上に努めている。	

6 総合評価

評価区分		評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	2	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	2	
	評価理由	・収支損益が今年度も大きくマイナスとなっているが、昨今の物価高騰や人件費の増大等、経済環境の変化による影響が大きく、むしろ厳しい経営状況にありながら指定管理期間の運営継続に注力いただいていることに感謝する。	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	職員不足を解消し、通所介護事業の再開を目指す。	・職員確保に向け、様々な手法により努力はしているものの、現状維持で精一杯な状況にある。 ・地域ニーズも考慮に入れ、実施事業については当面現状維持で可とする。	・アンケート箱の設置など、事業者負担にならない手法でより幅広い利用者ニーズの把握に努め、さらなるサービスの向上に繋げていく。

令和7年度まえさわ介護センターの指定管理に係る収支決算書

単位：円

				公の施設分	自主事業分	計		
収 入	市からの指定管理料			5,000,000		5,000,000		
	利用料金			113,560,774		113,560,774		
	指定管理者自主事業収入					0		
	経常経費寄附金収入			20,000		20,000		
	受取利息配当金収入			7,961		7,961		
	受入研修費収入							
	利用者等外給食費収入			92,444		92,444		
	雑収入			310,317		310,317		
	補助金事業収入			1,508,727		1,508,727		
	固定資産売却収入							
	退職給付引当資産取崩収入							
	長期貸付金回収収入					0		
合計			120,500,223	0	120,500,223			
支 出	大項目	中項目	小項目					
	人件費			82,392,011	0	82,392,011		
		給与			59,739,890	0	59,739,890	
			給料手当		50,709,301		50,709,301	
			社会保険料等		9,030,589		9,030,589	
							0	
		賃金			22,652,121	0	22,652,121	
			臨時職員賃金		22,652,121		22,652,121	
			社会保険料等				0	
							0	
		一般管理費			51,785,343	0	51,785,343	
	需用費				36,047,835	0	36,047,835	
			消耗品費				0	
			燃料費				0	
			印刷製本費		119,285		119,285	
			光熱水費				0	
			修繕費				0	
			給食費		9,837,840		9,837,840	
			介護用品費		868,453		868,453	
			保健衛生費		244,024		244,024	
			被服費				0	
			教養娯楽費		31,620		31,620	
			日用品費		188,046		188,046	
			水道光熱水費		12,152,444		12,152,444	
			燃料費		6,609,025		6,609,025	
			消耗器具備品費		180,827		180,827	
			保険料		310,324		310,324	
			車輛費		749,339		749,339	
			雑支出（事業）		10,988		10,988	
			福利厚生費		600,800		600,800	
			職員被服費		210,000		210,000	
			旅費交通費				0	
			研修研究費				0	
			事務消耗品費		381,636		381,636	
			修繕費		251,680		251,680	
			会議費				0	
			保守料		3,129,134		3,129,134	
			諸会費		16,500		16,500	
			雑支出（事務）		55,660		55,660	
			利用者等外給食費支		100,210		100,210	
			固定資産取得支出				0	
			役務費			620,810	0	620,810
				通信運搬費		620,810		620,810
				手数料				0
				保険料				0
								0
			委託料			11,894,990	0	11,894,990
				業務委託料		11,894,990		11,894,990
								0
								0
								0
			使用料及び賃借料			3,180,108	0	3,180,108
				賃借料		3,180,108		3,180,108
								0
			租税公課			25,000	0	25,000
				自動車税		25,000		25,000
								0
			その他諸費			16,600	0	16,600
	手数料				16,600		16,600	
	長期貸付金						0	
							0	
合計			134,177,354	0	134,177,354			

指定管理者事業報告書

令和8年4月30日

奥州市長 郷 右 近 浩 様

所 在 地 岩手県奥州市前沢字塔ヶ崎7番地

団 体 名 社会福祉法人つつじ会

代表者氏名 理事長 佐藤 正人

まえさわ介護センターにおける指定管理者の手続き等に関する協定書第21条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 公の施設の名称

まえさわ介護センター

2 管理の年度

令和7年度

3 管理の期間

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

4 管理業務の実施及び利用の状況

別紙の通り

5 使用料又は利用にかかる料金の収入実績

別紙の通り

6 管理に係る経費の収支状況

別紙の通り

7 その他



令和7年度事業報告書

社会福祉法人つづじ会

【指定管理】

ま え さ わ 介 護 セ ン タ ー
短期入所生活介護事業
居宅介護支援事業
障害福祉サービス事業

まえさわ介護センター短期入所生活介護

1. 事業の概要

- (1) 人員不足、長期利用者増加の中でも、可能な範囲で新たなレク活動の追加や創作活動の提供に努めた。
- (2) 施設入所や入院等の理由によりキャンセルになることが多かったものの、各事業所へ積極的に空き状況の周知を行い、受け入れを行うことで高い稼働率へ繋げることができた。
- (3) 居室割りの工夫を行い、離床センサーの活用及び利用者へナースコールの使用を促したことで、利用者に大きな怪我等なく、安全に過ごしてもらう事ができた。結果、見守り強化と危険回避に繋がった。
- (4) 前沢地域以外の送迎も可能な限り対応し、利用率向上に努めた。
- (5) 8月にコロナ感染での受け入れ中止を5日間行ったが、その後は早期に利用再開できた。また常に利用者の観察を行い、家族へ状況報告や通院を勧める事で、早期の受診や救急搬送に繋げる事ができた。

2. ショートステイの概要

- (1) 居室 個室29室 家族介護室1室
- (2) 定員 30名
- (3) 職員

令和8年3月31日現在

区分	生活相談員	機能訓練指導員兼 准看護師	介護福祉士	介護士	計
人員	1	3	11	3	18

(4) 職員勤務体制			
職 種	勤 務 形 態	勤 務 時 間	
生活相談員	日 勤	8：30～17：15	
看 護 師	早 番	7：00～15：45	
	日 勤	8：30～17：15	
	早 番	7：00～15：45	
	日 勤	8：15～17：00	
介護福祉士 介 護 士	日 勤	8：30～17：15	
	日 勤	9：00～17：45	
	日 勤	9：30～18：15	
	遅 番	10：00～18：45	
	夜 勤	16：30～翌9：30	

(5) 短期入所利用状況 (人)						
区 分	実 人 数			延 人 数		実人数 合計
	介護子防	要介護	障がい	介護子防	要介護	
4月	6	75	1	31	801	82
5月	8	76	1	34	814	85
6月	7	76	2	25	748	85
7月	9	81	1	37	759	91
8月	6	72	1	22	714	79
9月	3	78	1	9	793	82
10月	2	77	1	8	837	80
11月	2	78	1	6	779	81
12月	2	79	1	6	831	82
1月	2	70	1	8	812	73
2月	1	65	1	4	709	67
3月	4	65	1	16	735	70
計	52	892	13	206	9,332	957

(6) 地域別利用者数 (人)						
地域	前沢	衣川	水沢	胆沢	平泉	東山
人数	97	22	13	4	0	0

3. 防災対策				
月 日	内 容	対 象	備 考	
7.18～19	委託業者による消防用設備等点検	利用者・職員	法定点検	
9.19	委託業者による防火対象物点検		法定点検	
11.28	三者合同避難訓練		法定点検	
2.6～7	委託業者による消防用設備等点検			

4. 職員研修の状況
 ガウソンの着脱研修：2月部門会議内にて

前沢居宅介護支援事業所

1. 事業の概要

- (1) 令和7年度は主任介護支援専門員1名、介護支援専門員1名の計2名体制でスタートしたが5月からは主任介護支援専門員1名で業務を遂行した。介護給付管理数と予防給付管理数は年間で、523件（介護給付454件、予防給付69件）であった。
- (2) 介護支援専門員1名体制により特定事業所加算は算定出来なかった。長期入所や死亡の理由で件数に変動もあった。希望による契約も含め、新規契約を獲得する事が出来た。相談件数は常にあり、サービスに繋ぐ事が出来た。
- (3) 介護給付数の多い順は要介護1、3、2、4、5となった。施設入所する方も居り、給付者数が少ない月もあった。
- (4) 介護給付管理数454件については、入院時や退院時は病院に足を運び各加算の取得や、通院時情報連携加算も取得に努めた。
- (5) 介護予防支援業務は、要支援1、要支援2の計画作成受託（総合事業含む）。年間75件の予防給付管理数となった。介護予防の利用者の介護予防計画作成の受託については、社会福祉法人優愛福祉会と契約を締結し、介護予防支援計画を作成、予防給付管理を行っているが、予防から介護に移行している現状となっている。
- (6) 令和7年度は高齢者世帯や独居世帯、認知症高齢者世帯への支援が益々増加した。介護度が高くなると在宅での介護の時間が長くなるため、施設入所を希望される御家族が多い。4月～3月までで2人、永眠された方は4名と少なく感じた。ターミナルの方の支援も多かった。また、遠方にいるご家族様と連絡を取り合いながらの支援も行った。新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の流行時は、その都度確認を行い支援した。介護支援専門員の異動等により受け持ち利用者様の調整を行いスムーズな介護サービス利用継続に繋げる事も出来た。ご本人様の思いやご家族様の希望を傾聴させて頂きながら、各サービス事業所と密な連携を図り、利用者様の意向に沿った希望通りの対応が実現できた。

2. 居宅介護支援事業所の概要

職員	主任介護支援専門員	1人
	介護支援専門員	1人（4月）

3. 給付管理件数

介護予防支援計画			居宅介護サービス計画						
区分	要支援		計	要介護					計
	1、2	総合		1	2	3	4	5	
4月	1	2	3	28	18	14	5	2	67
5月	2	3	5	19	7	6	2	1	35
6月	2	3	5	20	5	7	2	1	35
7月	3	3	6	19	5	7	2	1	34
8月	3	3	6	19	5	7	2	1	34
9月	4	3	7	19	5	5	2	1	32
10月	3	3	6	21	6	5	2	1	35
11月	3	3	6	21	6	5	3	1	36
12月	4	3	7	22	5	5	3	1	36
1月	4	3	7	22	5	6	3	1	37
2月	3	2	5	21	4	7	3	1	36
3月	3	3	6	21	5	7	3	1	37
計	35	34	69	252	76	81	32	13	454
年間給付管理件数 523 件									

4. 職員研修の状況

月 日	内 容	場 所
6.20	安全運転管理者総会	奥州市
7.23	四半期末監査	奥州市
8.4	令和7年度介護保険集団指導会	オンライン
8.25	奥州病院通所リハビリテーション会議	奥州市
9.18	美希病院地域懇話会	奥州市
11.19	安全運転管理者講習会	盛岡市
R8.2.27	安全運転管理者「交通安全大会」	奥州市
3.26	権利擁護、個人情報保護法等研修会	北上市

職員委員会活動

1. 各委員会の具体的活動状況

(1) QOL・感染症予防対策・給食委員会

①委員会の内容を部門会議で報告し短期入所職員全体への周知、内部研修の開催、マニュアルの確認を行った。

②短期入所利用者の食事摂取状況を把握し委託業者との連携を図った。

③委託業者の栄養士、スーパースーパーが2ヶ月に1回会議に出席し、委員会で食事内容の検討を行った。

(2) 身体拘束廃止・虐待防止・事故防止対策委員会

①事故報告、ヒヤリハット等の統計を取りまとめ周知した。

②部門ごとに対策を講じているが、さらに委員会で検討し身体拘束廃止・虐待防止・事故防止に努めた。

③内部研修、マニュアルの検討を行った。